

心豊かな青少年の育成や、人と人が互いに支え合う社会づくりのため、特にボランティア活動や自然体験活動など、体験活動の推進に向けた取組が県内の様々な場で進められている。子どもたちが興味を持って自主的・主体的に参加することができる魅力ある活動を、地域の中でいかに展開していくかが大きなポイントとなっている。

ここでは特に、人、団体、地域、学校、行政など、子どもをとりまく幅広い関係者との連携のしかたや活動拠点、活動の展開方法等に着目し、以下の二つに大きく分類して事例を紹介する。

1 地域のネットワークでつくる活動事例

地域の団体等と学校や公民館などの社会教育施設との連携により発展・充実してきた「青少年の体験活動・ボランティア活動」支援事例

2 青少年の参画を目指す活動事例

青少年の主体性が生まれ、青少年自身が主役となって展開されている「体験活動・ボランティア活動」事例

以上、20の事例をもとに県内の取組や支援に関する特徴等を分析し、今後の課題をまとめていく。

☆事例の主な調査項目について

1. 【活動（事業）名】 活動のテーマや実施しているプログラム名など
2. 【主となる団体について】 団体名、代表者、所在地（連絡先）、電話・FAX、E-mail、URL
3. 【活動の趣旨・目的】
4. 【共催・連携】 活動を実施する上で、手をつないでいる関係団体や学校、行政機関、自治会など
5. 【対象、人数、条件】 特に活動に参加するための条件などがある場合には記載
6. 【始めるきっかけ】
7. 【広報のしかた】 活動を地域に広めていくための方法・手段
8. 【活動内容】 特徴的な活動にポイントを絞って紹介
9. 【成果と課題】 これまでの活動の手応えと今後の方向性など
10. 【これから始める人へのメッセージ】 活動の主体となる人からの思いなど
11. 【関わっている人】 活動の実施者、対象となる人、支援をする人など、活動に関わる全ての人を、〈幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、青年、成人〉の各年齢層で表現
 - * 【その他】 活動中の写真、活動プログラム、全体の組織図など